

第 48 回岡田地区 新春サークル発表会

令和初!!

2月2日
3日



館報 おがだ

あいさつで
明るくすまひ まちづくり

今年で 48 回目を迎える岡田地区新春サークル発表会が、岡田公民館で賑やかに開催されました。

作品展示

岡田地区を中心に活動する 30 を超える団体の作品展示がありました。皆さんの力作や自信作、小中学生の作品など多くの展示品があり、来館された方からは、感嘆の声や笑い声など、とても楽しんでいる様子をうかがうことができました。



岡田小学校



女鳥羽中学校



切り絵教室



岡田陶芸教室



三水会(そば打ち)

ステージ発表

ステージ発表では 13 団体が、日頃のサークル活動の成果を披露しました。今年は観客に呼びかけて、一緒に歌ったり、太極拳をしたり、クイズに答えたり、という参加型のステージが多く、会場全体で楽しい時を過ごしました。

最後は岡田地区地域づくりセンターの皆さんによる寸劇です。地域づくりセンターができた平成 27 年に、「地域づくりには、職員も団結！まず顔を覚えてもらおう」と、センター劇団を立ち上げたのだそうです。今年も、出張所、公民館、福祉ひろばの職員、北部地域包括支援センター担当者、岡田地区担当保健師さんが揃っての出演でした。

高齢者の問題がいろいろ出てきましたが、趣向を凝らした劇を笑いながら見終えて、ちょっとほのぼの。「見守ってくれる人たちが地域にいて、老後も少し積極的になれば、安心して暮らせそうだな。」と思ったのでした。(取材 浅輪、中本)



岡田歴史研究会



岡田地区地域づくりセンター



太極拳ひまわり



岡田太鼓連

岡田ぼっとニュース

自分の地区を あるいてみませんか？塩倉

塩倉地区に引越して2年が経とうとしています。

私の営む整体院には、職業柄、松本市内や県内外からも人が訪れます。

みなさん「いいところですね」「四季がはつきりわかりますね」など、この地区のことを褒めてくださいます。

去年の夏頃から、スマートフォンアプリ(携帯ゲーム)で街歩きをすることを始めました。

携帯片手に近くを歩くようになったのですが、そこで気づくことがたくさんありました。

近所の方とすれ違えば「こんにちは」「おはようございます」など、自然に声を掛け合いますし、車ですれ違う方は、運転席から会釈してくれたりします。不思議なもので、それだけでこちらも自然と笑顔がこぼれたりします。

また、歩くことによっては、今まで見逃していたものにも目を留めるようになりました。

道端にあるお地藏様や、車で

は入っていけないような小道などです。

特に小道は「これはどこまでいけるんだろう?」なんて、奥まで進んでみたら、空き家にとどり着いたり、行き止まりだったり、急な坂道になって引き返してみたりと、童心に返ったようなワクワク感がありました(笑)

そのことをご近所さんに聞いてみると「あそこは〇〇まで抜けられるよ」とか、「そこは以前住んでいた人が畑をやっていたよ」などの話かとびだします。ますます楽しくなり、「今度はもうちょっと進んでみようかな?」なんて思ったりしています。

皆さんも、近所の方とのコミュニケーションや健康のために、知っているようで知らない自分の地区を歩いて、小さな気づきを楽しんでみてください。

(取材 浅輪)



お地藏様と小道が並ぶ風景

私が岡田に住み始めて4年。この半年ほど海外で暮らしている。

常に聞かれる「Where are you from? (どこから来たの?)」のフレーズ!

私は「Japan ↓長野 ↓松本」と答える。

ほとんどの人が、「えっ、それってどこ?」って顔をする。

すかさず、東京から3時間 ↓東京と大阪の間 ↓22年前の長野オリンピック開催地 ↓地獄谷野猿公苑のスノーモンキーを伝える。

スノーモンキーあたりで、ようやく知っている人が少し出てくるあります。

雪をかぶったニホンザル

が温泉にまったり浸かっているなんて、まさしく最高のインスタ映え画像。

そんな時ふっと思う。浅間温泉にも猿が入りに来てくれれば...

自称「松本岡田の宣伝部長」の私は、常々こんな無謀な妄想

を思い描いている。そう、ここ「岡田地区」は、私が自然に自慢してしまうくらい素晴らしいのだ!

そして私はこれからも国内外を問わず、多くの人々に話すことだろう。

冬はマイナス10度以下も体を

験出来るオプシオンも付けて(笑)。

岡田で過ごす何気ない日常は、日々降り注ぐ太陽とともにキラキラしている。

恵まれた自然環境、美味しい食材、優しいご近所さんや地域の人たち、楽しい友人たちなど。

いずれこの岡田を離れる時、ここでの全てが素敵な思い出として強く心に残ることだろう。

「私は岡田が好きだ。」この土地で出会えた人々から感謝している。

そしていつまでも岡田親善大使でありたいと思う。

松本市選挙のワタシ

松本市長選は3月15日に投票が行われ、無所属新人の臥雲義尚さんが当選されました。

16年ぶりに市長が交代することから、市民の関心も高く、良い投票率が期待されましたが、新型コロナウイルスの影響があったのか、投票率は48.38%で、前回の選挙を下回りました。

選挙に先立ち、岡田、本郷地区の有志が実行委員会をつくり、「松本市長選挙立候補予定者のはなしを聞く会」を、1月26日に岡田公民館で開催しました。「新人がたくさん出てうれしいけれど、いったいどんな人?直接はなしを聞きたいね」、そんな素朴な思いから会がスタートしました。

少人数の車座集会のつもりが、当日は予想を大きく上回り、延べ200人を超える参加者が集まりました。立候補予定者への質問も多数出て、会場は熱気にあふれていました。参加者は、「近くで開いてくれてありがとう。直接お話しを聞いたら印象が変わり、とても参考になった」と話されていました。

(取材 竹内)

